

令和5年度 学校評価報告書

学校番号(小15) 長崎市立(南小)学校

1 教育目標

自ら学び鍛え、励まし合う、心豊かな児童・生徒の育成

2 学校経営方針

「最後の1年を最高の1年に」

3 重点目標

「一人一人にしっかり力をつけさせる。自信をもって次のステージへ」
 ・個に応じた指導の徹底 ・基礎基本の徹底 ・多様な考えに触れる機会の設定 ・自分の思いや考えを表現する場の設定
 ・鍛える場の設定 ・命を大切に活動 ・大舞台での経験と価値づけ

「ゆるぎのない郷土愛、愛校心をもたせる。いつまでも南に誇りと愛情を」
 ・総合的な学習の時間の充実 ・地域人材の活用 ・閉校記念イベントへの参画

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	100	100	100	○「学校は明るく楽しい雰囲気である」の評価が高い。子ども一人一人を大切に、子どもが安心して学校生活を送れるように指導したことが実った。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	100	100	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			100	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			100	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	100	100	100	○統廃合ということで、次の学校へ行っても、自分に自信を持って取り組むことができるように、職員一同共通理解のもと指導を行った。いろいろな行事を通して、達成感を味わうことができた。特に閉校式典では、自分たちの出し物に、多くの参加者から盛大な拍手をいただいたことで、より自分に自信をつけることができた。
		挨拶をよくしている	100	100	100	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	100	100	100	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	100	100	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	100	100	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	100	100	100	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	100	100	100	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	100	100	100	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	100	100	100	○茂木小との交流学習を重ねたことで、コミュニケーション力や表現力の向上が見られた。 ○地域の方に、防災や音楽等の授業をしていただき、地域の実態に即した教育を行うことができ、キャリア教育につながった。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	100	100	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	100	100	100	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	100	100	100	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		100				

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	100	100	100	○ノーメディアチャレンジウイークを茂木小、茂木中と連携して行った。メディアについて保護者と子どもが考える機会となり、とても講評であった。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	100	100	100	
		体力向上に努めている	100	100	100	
	食育	食に関する教育活動を行っている	100	100	100	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	100	100	100	○育友会・地域の方との協力のもと、閉校記念式典を盛大に開催することができた。 ○職員も式典に向けて、協力して、子どもの指導等に取り組むことができた。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	100	100	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	100	100	100	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	100	100	100	○安全推進委員会・服務規律委員会を毎月必ず実施し、働きやすい職場づくりに努めた。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる				

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

すべての項目において、児童・保護者の方から肯定的な評価を得ることができた。これは、「南小最後の一年」の学校経営方針のもと、全職員で取り組んできた成果だと考える。特に、閉校記念式典に向けて、児童・保護者・教職員、地域の方と協力して進めたことがよかった。また、茂木小との統合を見据え、集団の中でも自分の思いや考えを伝えられるように日々の活動(授業)の中で、個に応じた指導や基礎基本の徹底等、極小規模校の良さを生かした指導等を行った。このことで、各種行事(運動会、小体会、小音会、閉校記念式典等)にも、自分で目標設定し、努力する姿が随所で見られた。茂木小との交流においても、授業中進んで発表したり、休み時間、友達と楽しそうに話したりしている姿が見られた。

統合に向けて、保護者説明会を茂木小に開いていただき、不安を少しでも和らげるように取り組んだ。

6 学校関係者評価

・子どもはもちろん、保護者からも評価が高い結果で、先生方がよくやっているという好評をいただいた。「閉校に向けて、卒業生の方が作曲した曲に、子どもたちが歌詞をつける」という学習を参観していただいた。子どもたちのアイデアの素晴らしさや、地域の方と進める授業について、大変良かったと学校の取組に好評を得た。また、年間を通した他校との交流の場の設定についても説明を行った。

・閉校に向けて、子どもも保護者も不安であるはずなので、心のケアを。

・地域での子どもたちの様子では、子どもが少なくなりあまり会う機会がなくなってしまったが、会うと気持ちのよい挨拶がしっかりとできてきているということであった。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

・「学校が変わる」という不安を和らげるために、子どもたちへの面談や、保護者への茂木小学校説明会を実施することとした。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。

<参考例> 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。